

——まず、WCPとは。
梶村氏「『Weed Control Panel』の略。二重の金網で形成さ

「NEW」
に挑む

トワロントレーディング×近畿大学 設置型つる系雑草繁茂抑制パネル開発

雑草の成長を止めながらも、地面を守ることができる。除草剤ではできない機能で、近隣への薬剤流出などの心配もない」

——つる系雑草の繁茂はさまざまの問題を引き起こす。

松田氏「フェンスに絡まり、乗り越え、隣地からの苦情

静電気の技術活用、安心安全に除草

梶村氏「『誰でも設置できる』ものにするため、約1坪×1坪、3センチ程度の軽量パネルとした。素材は、亜鉛引きの鉄線の亀甲金網2枚を耐候性の良い塩化ビニルで額縁に入れた形状。トワロンの主力製品であるiR（低密度ポリエチレン）被覆鉄線を用いたオリジナルフックで吊り下げる。これにより、短い施工時間で設置でき、専用の施工業者を必要としない」

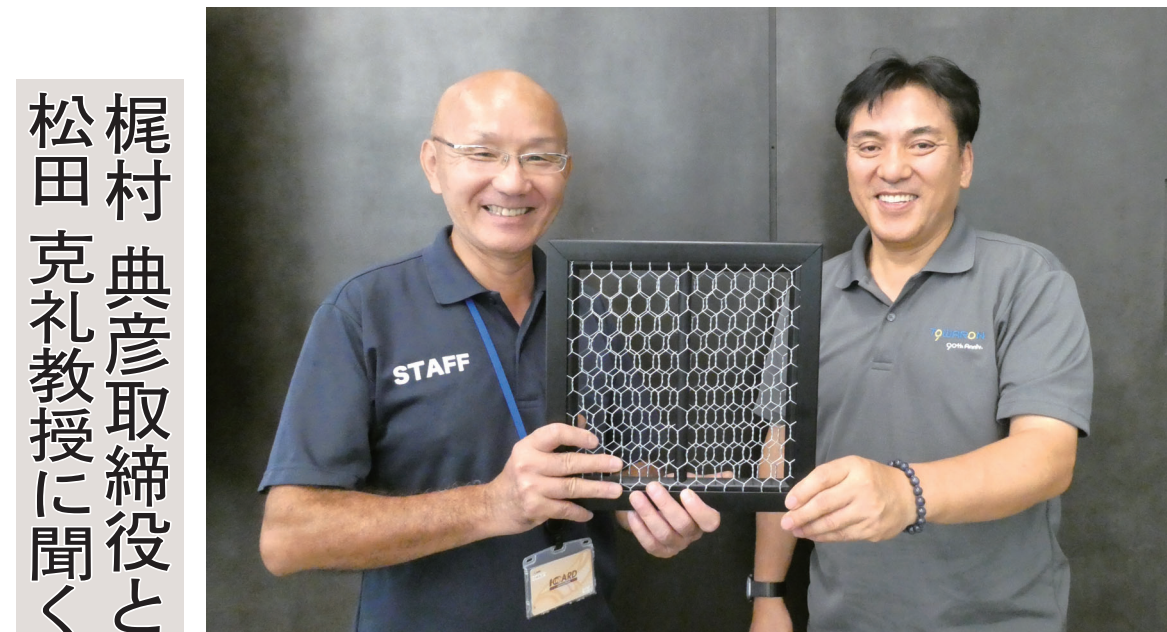

——引き合いは堅調。

ある。こうしたフェー」

梶村氏「装置の置き方や、網の仕様、金網と金網の間の隙間の距離、WCPを並列してどこまで並べられるか、施工誤差の許容幅など、さまざまに試験を繰り返した」

梶村氏「毎日のように問い
合わせが来ている。大手鉄
道会社や通信・送電鉄塔な
どを持つ電力会社、太陽光
関連企業、大手企業の工場
など『フェンス』のある場
所を持つ企業・団体ならど
こでも、まずは試してみよ
うと思うっているように
ある」

「中でも、セキユリテイ
ーの厳しい研究機関や空港
からは、つる系雑草でセキ
ユリティーフェンスが誤作
動を起こすことに悩まされ
ていたようだ」とにかく見
積もりを『
と、興味を
持っていた
だいてい
る」



WCPを手を持つ松田近畿大学農学部教授⑤、
梶村トワロントレーディング取締役



WCPは「誰でも設置
できる」軽量パネル

梶村 典彦取締役と
松田 克礼教授に聞く

——万博にも出展した。産学連携を紹介するブース

松田氏「9月20日に大阪・関西万博EXPOメッセ『WASSE』で開催された、近畿大学創立100周年記念スペシャルイベント『海と大地を耕す』でPRした。近畿大学の研究力や梶村氏多くの来場者から、において、トワロントレーディングと共同で出展。ステージ発表もあり、絡まるつる系雑草の繁茂に困っている人に『WCP』を紹介する人のコントを行った」

産学連携を紹介するブースにおいて、トワロントレーディングと共同で出展。ステージ発表もあり、絡まるつる系雑草の繁茂に困っている人に『WCP』を紹介する人のコントを行った」

梶村氏「多くの来場者から、



万博に出展したブースも大盛況だった

『家の庭にも欲しい』『家庭でも買えるのか』などと、予想以上に大盛況で、とてもうれしい。(※現在は法人・団体向け販売のみ) 近畿大学はもちろん、トワロントレーディングという会社がSDGsな製品を開発・製造している企業と知っていただけに良い機会となった」

実際の供給



トワロンの i R (低密度ポリエチレン) 被覆鉄線
オリジナルフックで吊り下げる

能力は。

能力は。

梶村氏「フレームは外注しており、金網メーカーで組み立てている。つる系雑草が枯れる12月ごろから本格的に注文が増える」と見込ま

十二分に聞かえている。つる系雑草が繁茂していない1〜3月にかけて設置するところが多く、今年は1千枚準備しているが、無くなると3〜6カ月お待ちいた

れるが、すでに引き合いはだくことになる

3年後売上高3億円以上目指す



——増産に向けて動いている。

梶村氏「実際に来年の夏に効果を実感していただければ、よりまとまった注文が入ると考えている。来年は3千枚、数年後には5桁枚に到達すると考えている。

そのころには、3億〜4億円ほどの売上高を安定的に出したい

——市場規模が大きく、

パネルが設置される場所（手前）と無い場所（奥）の効果の差は歴然

て。実験は何度もも
てきたが、実用化は
また違った世界だ。
企業と手を組むこと
で、さまざまな視点
を得ることができ
た。自分の発想や研
究が、安心・安全で
人の役に立つ、誰か
のお困り事を解決で
きるのはうれしく思
う」

